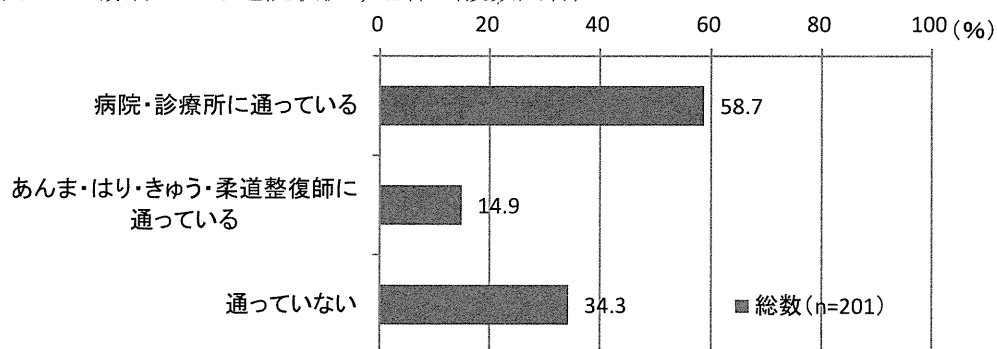


(2) 傷病による通院状況

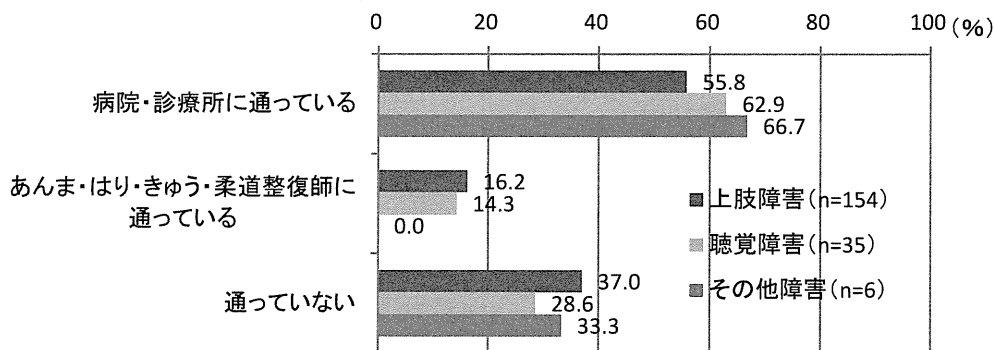
問2 あなたは現在、傷病（病気やけが）で病院や診療所（医院、歯科医院）、あんま・はり・きゅう・柔道整復師（施術所）に通っていますか。（往診、訪問診療を含む。）

- 現在、傷病による通院をしているかについて、全体で見ると、「病院・診療所に通っている」が58.7%と最も多く、次いで「通っていない」が34.3%、「あんま・はり・きゅう・柔道整復師に通っている」が14.9%である。
- 障害種別で見ると、上肢障害は「病院・診療所に通っている」が55.8%と最も多く、次いで「通っていない」が37.0%である。聴覚障害は「病院・診療所に通っている」が62.9%と最も多く、次いで「通っていない」が28.6%である。その他障害は「病院・診療所に通っている」が66.7%と最も多く、次いで「通っていない」が33.3%である。
- 性別で見ると、男性は「病院・診療所に通っている」が61.0%と最も多く、次いで「通っていない」が32.0%である。女性は「病院・診療所に通っている」が55.6%と最も多く、次いで「通っていない」が37.4%で、女性よりも男性の方が通院している割合がやや多くなっている。
- 世帯類型別で見ると、単身世帯は「病院・診療所に通っている」が66.7%と最も多く、次いで「通っていない」が22.2%である。親とのみ同居世帯は「病院・診療所に通っている」が71.1%と最も多く、次いで「通っていない」が22.2%である。その他世帯は「病院・診療所に通っている」が53.2%と最も多く、次いで「通っていない」が39.5%で、他の世帯類型と比べて通院している割合がやや少なくなっている。

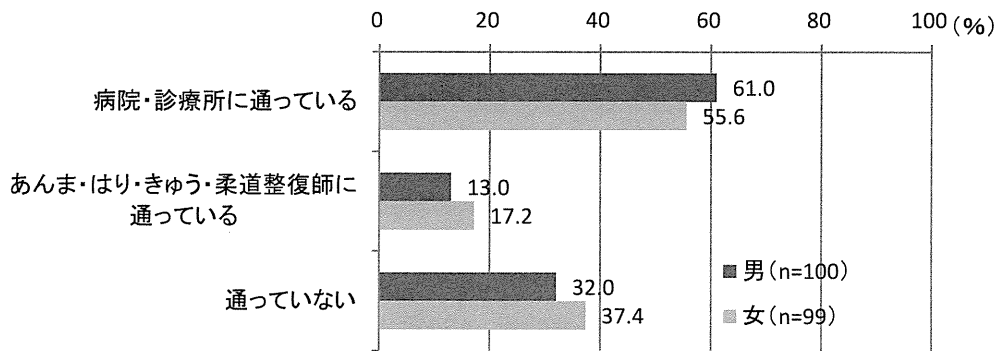
図表 68 傷病による通院状況；全体（複数回答）



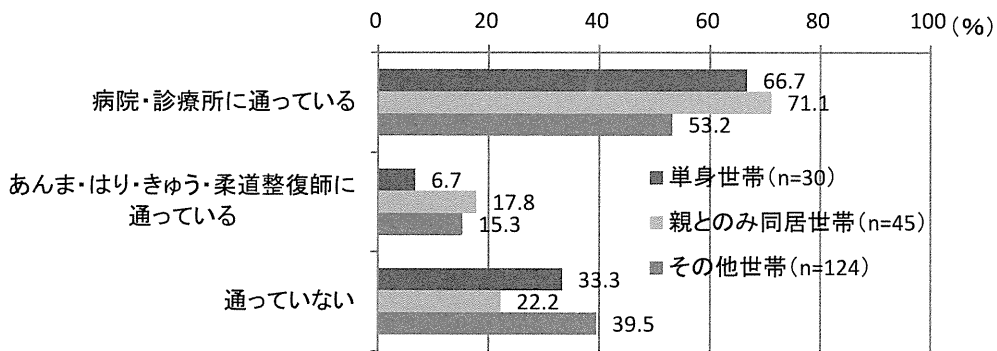
図表 69 傷病による通院状況；障害種別（複数回答）



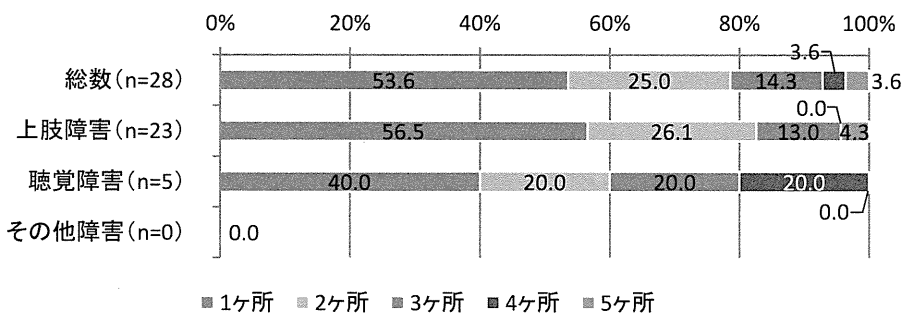
図表 70 傷病による通院状況；性別（複数回答）



図表 71 傷病による通院状況；世帯類型別（複数回答）

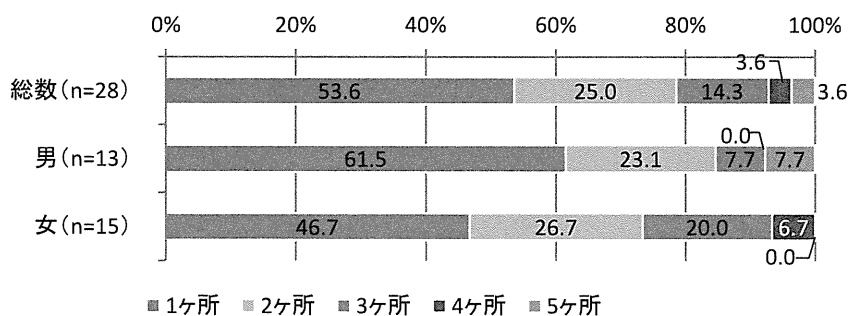


図表 72 あんま・はり・きゅう・柔道整復師に通っている箇所数；障害種別

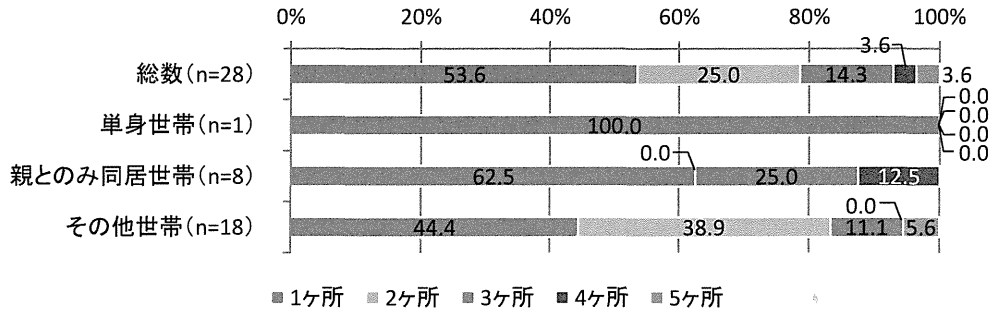


○通っているあんま・はり・きゅう・柔道整復師（施術所）の数について、全体で見ると、「1ヶ所」が53.6%と最も多く、次いで「2ヶ所」が25%、「3ヶ所」が14.3%である。

図表 73 あんま・はり・きゅう・柔道整復師に通っている箇所数；性別



図表 74 あんま・はり・きゅう・柔道整復師に通っている箇所数；世帯類型別



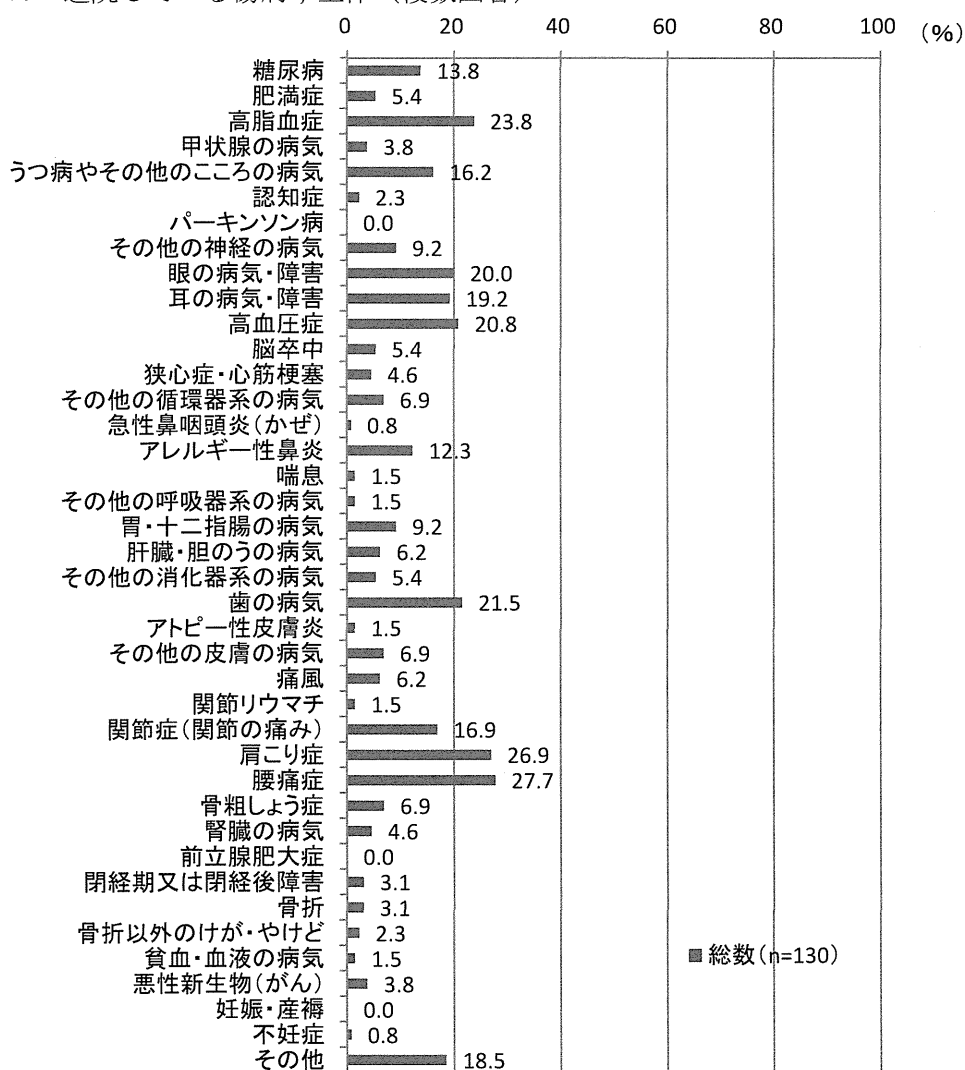
①通院している傷病

【「1、2通っている」と答えた方にうかがいます。】

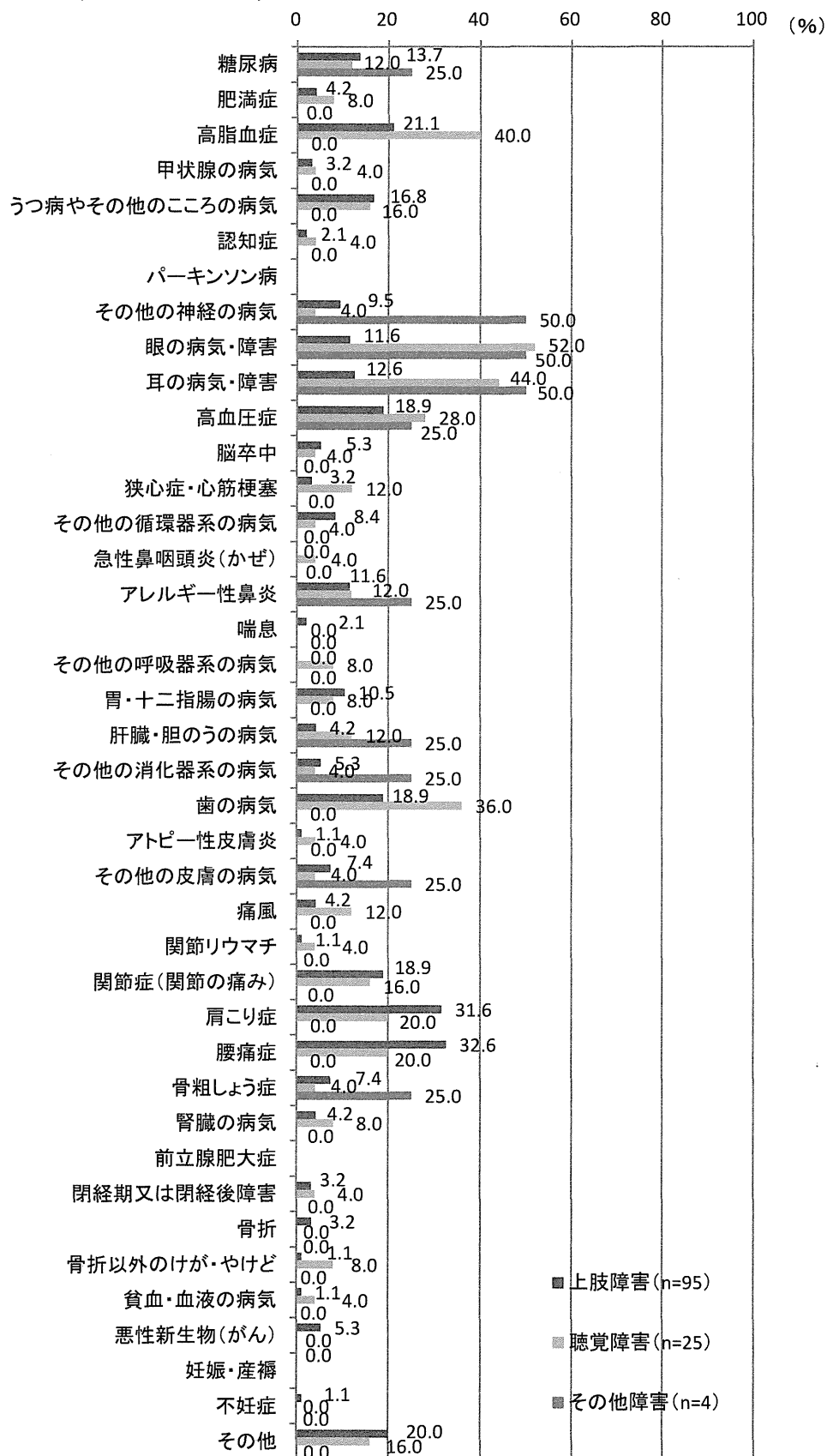
(1) どのような傷病（病気やけが）で通っていますか（〇はいくつでも）。

- どのような傷病で通っているかについて、全体で見ると、「腰痛症」が27.7%と最も多く、次いで「肩こり症」が26.9%、「高脂血症」が23.8%である。
- 障害種別で見ると、上肢障害は「腰痛症」が32.6%と最も多く、次いで「肩こり症」が31.6%、「高脂血症」が21.1%である。聴覚障害では「眼の病気・障害」が52.0%と最も多く、次いで「耳の病気・障害」が44.0%、「高脂血症」が40.0%である。
- 性別で見ると、男性は「高脂血症」が27.9%と最も多く、次いで「腰痛症」が26.5%、「高血圧症」が23.5%である。女性は「肩こり症」が36.7%と最も多く、次いで「腰痛症」が30.0%、「その他」が25.0%である。
- 世帯類型別で見ると、単身世帯は「高血圧症」が30.0%と最も多く、次いで「高脂血症」が25.0%、「歯の病気」と「うつ病やその他のこころの病気が」それぞれ20.0%である。親とのみ同居世帯は、「耳の病気・障害」が34.3%と最も多く、次いで「肩こり症」と「腰痛症」がそれぞれ31.4%である。その他世帯は、「腰痛症」が29.7%と最も多く、次いで「肩こり症」が27.0%、「高脂血症」が23.0%である。

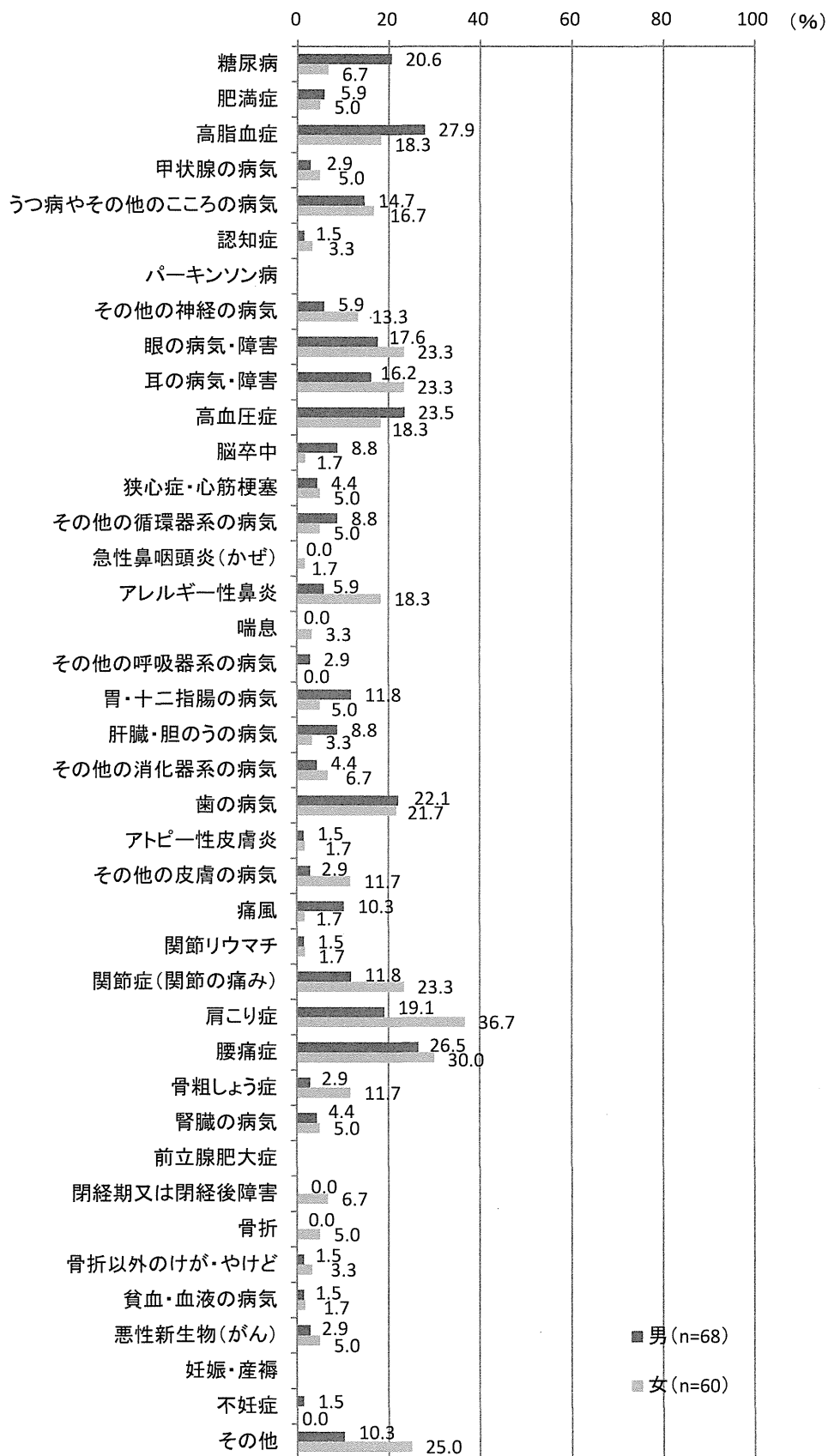
図表 75 通院している傷病；全体（複数回答）



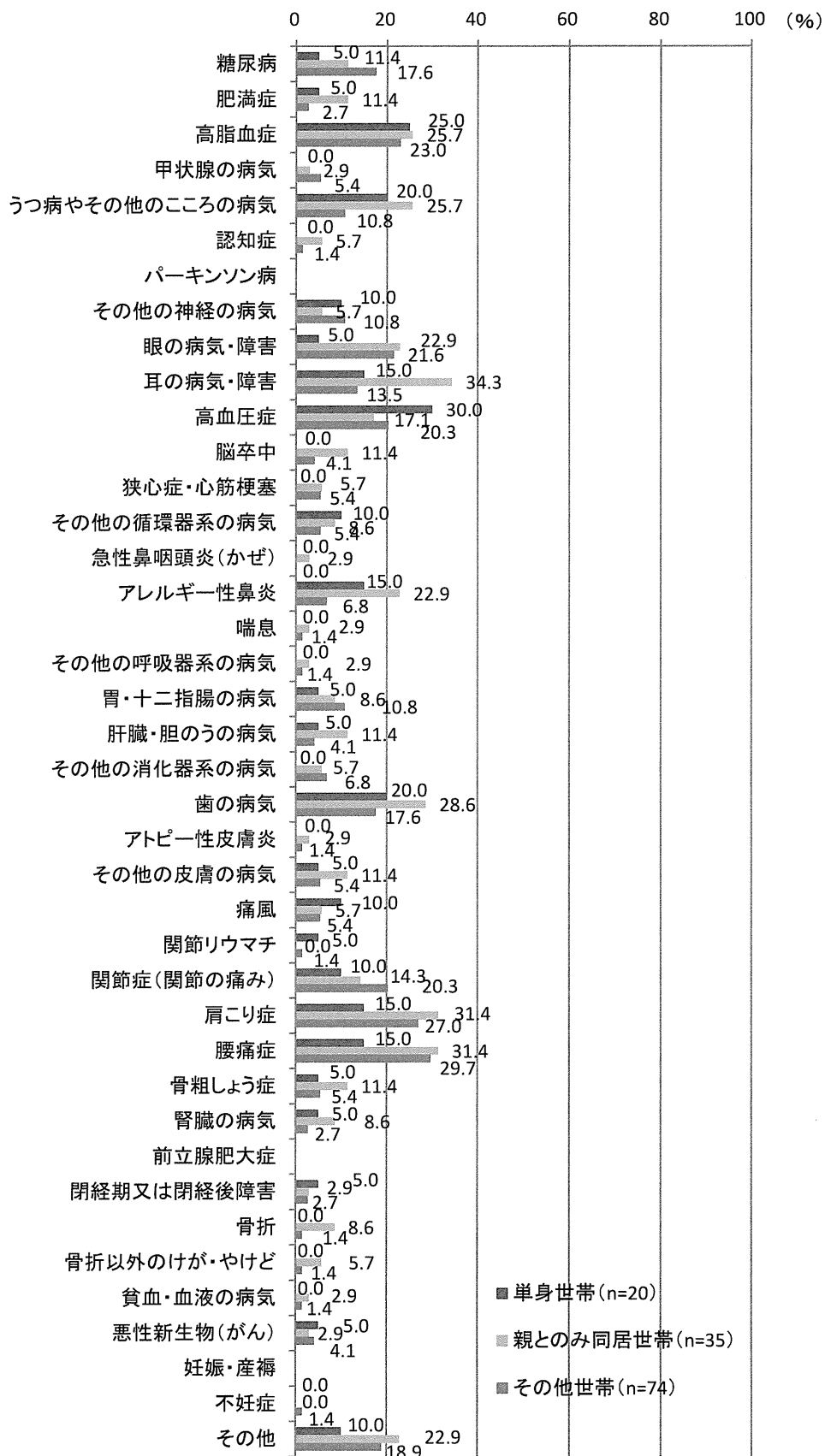
図表 76 通院している傷病；障害種別（複数回答）



図表 77 通院している傷病；性別（複数回答）



図表 78 通院している傷病；世帯類型別（複数回答）



図表 79 通院している傷病；40. その他

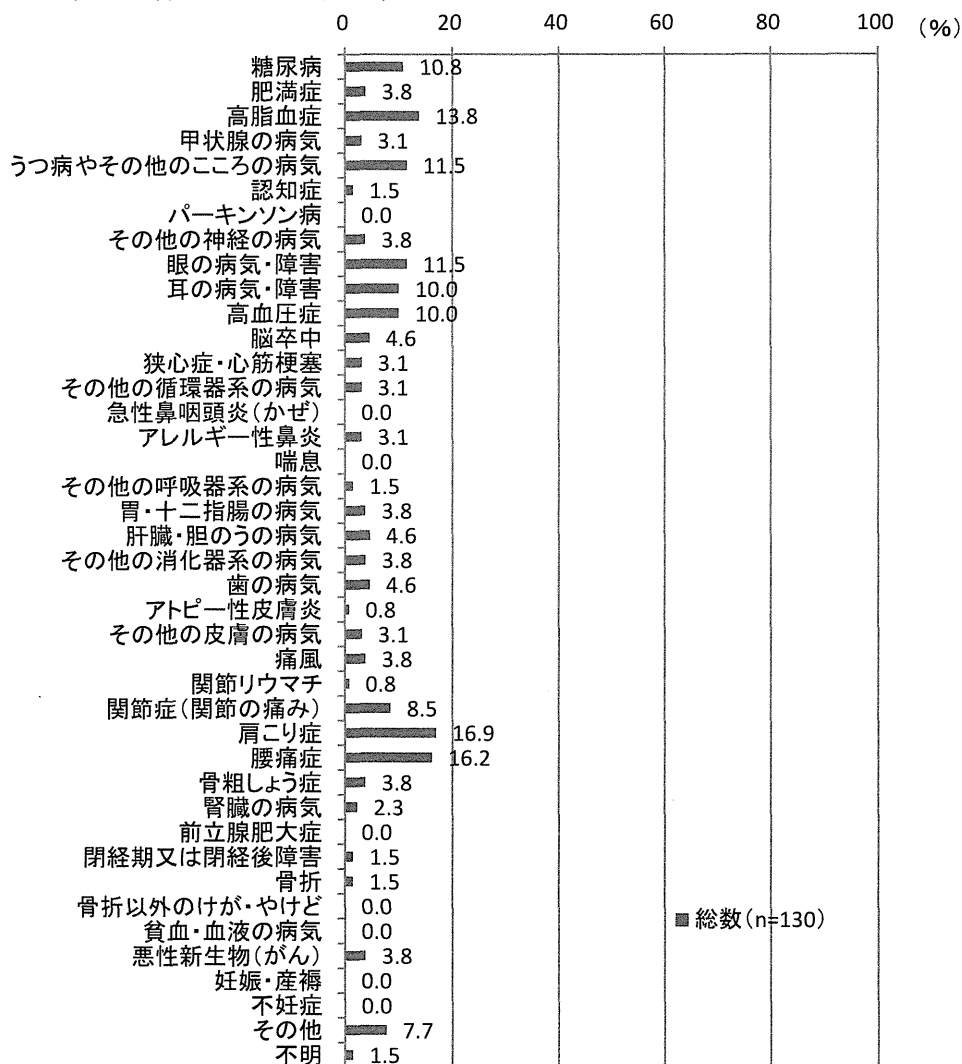
・不明、時々肋骨がひどく痛み、夜中に病院へ行くがその痛みがどこからくるのか、検査しても不明
・ねんざ ・リンパ
・手根管症候群
・握力不明 ・体温 36.0
・握力は3歳まで ・体温は36.5度
・アレルギー：温度湿度の変化でじん麻疹が出たりその他、色々な症状が出る
・股関節形成不全
・婦人科で女性ホルモン、便秘を整える漢方薬をもらっている。卵巣（右側）がはれている ・胃が弱っているピロリ菌がある
・大腿骨骨頭壊死症 ・鼠径ヘルニア
・膝痛 ・頭痛
・婦人科 子宮筋腫 ・貧血
・うつ病
・緊張型頭痛（首） ・内耳性めまい
・筋肉が落ちているので加圧トレーニング。接骨院に併設されています。
・神経痛で手、腰、大腿骨等が痛い
・不眠
・膠原病
・利き手の使い過ぎによる腱鞘炎
・50肩理学療法
・リンパ浮腫
・高血糖値
・乳がん
・歯科 歯石除去 ・眼科

②本人が最も気になる傷病

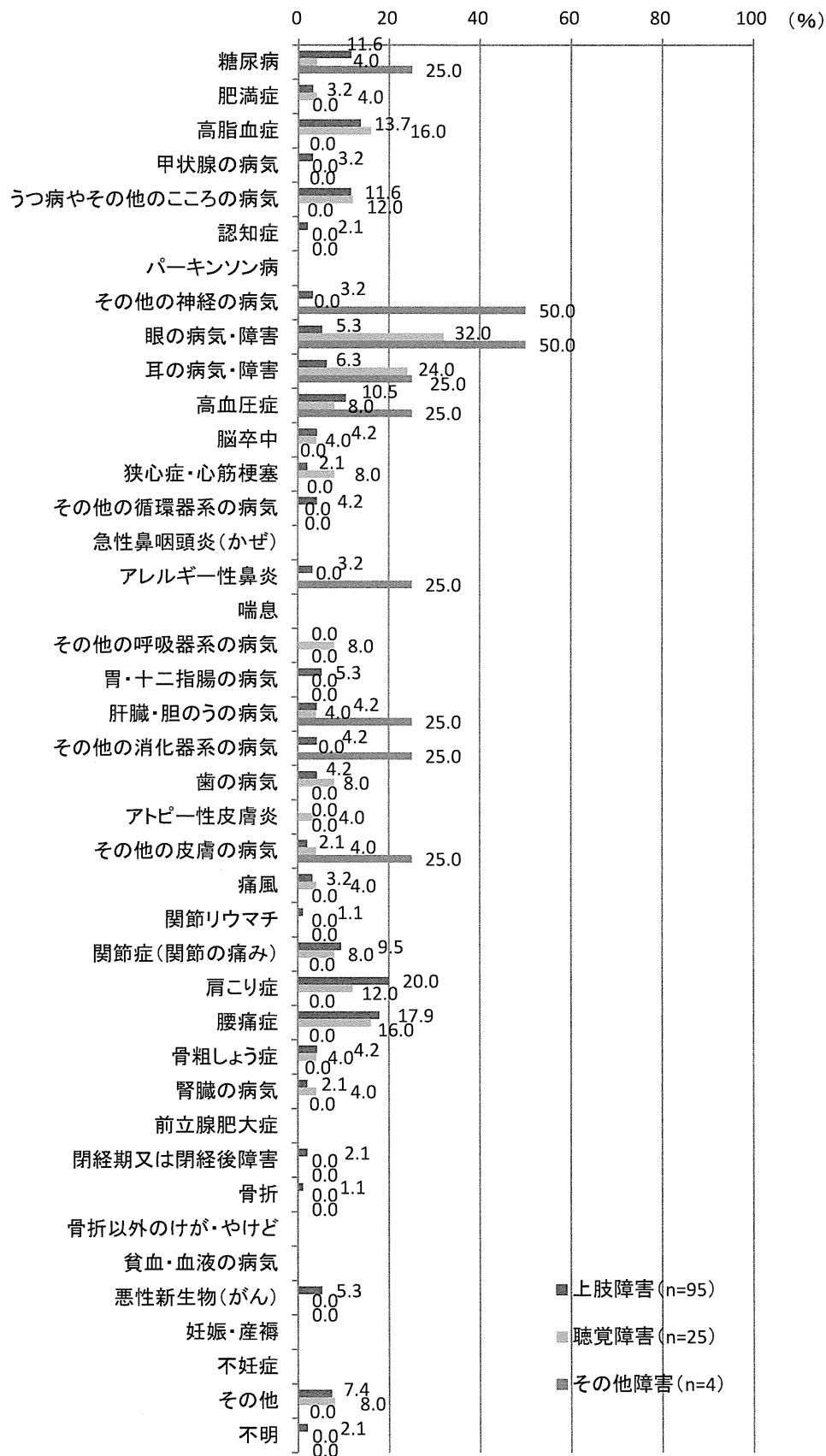
(2) 上記の中で最も気になる傷病名の番号を3つまで選んで記入してください。

- 最も気になる傷病について、全体で見ると、「肩こり症」が16.9%と最も多く、次いで「腰痛症」が16.2%である。
- 障害種別で見ると、上肢障害は「肩こり症」が20.0%と最も多く、次いで「腰痛症」が17.9%である。聴覚障害は「眼の病気・障害」が32.0%と最も多く、次いで「耳の病気・障害」が24.0%である。
- 性別で見ると、男性は「高脂血症」が17.6%、次いで「糖尿病」が16.2%である。女性は「肩こり症」が23.3%と最も多く、次いで「腰痛症」が18.3%である。
- 世帯類型別で見ると、単身世帯は「高脂血症」と「高血圧症」がそれぞれ20.0%と最も多く、次いで「うつやその他の心の病気」が15.0%である。親とのみ同居世帯は「肩こり症」と「腰痛症」がそれぞれ20.0%と最も多く、次いで「うつやその他の心の病気」、「眼の病気・障害」、「耳の病気・障害」がそれぞれ17.1%である。その他世帯は「肩こり症」が18.9%と最も多く、次いで「腰痛症」が16.2%、「高脂血症」が13.5%である。

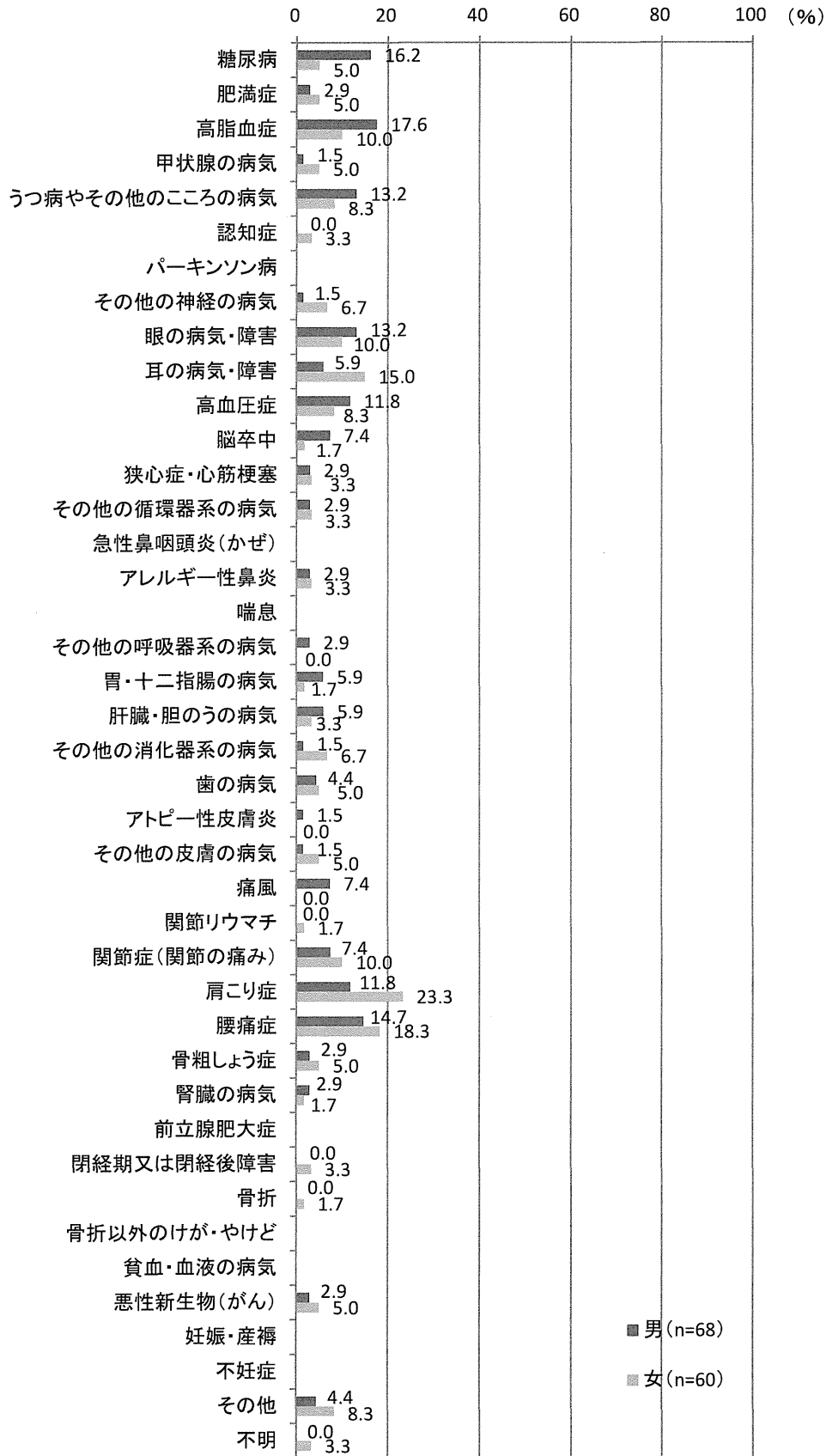
図表 80 本人が最も気になる傷病；全体（複数回答）



図表 81 本人が最も気になる傷病；障害種別（複数回答）



図表 82 本人が最も気になる傷病；性別（複数回答）



図表 83 本人が最も気になる傷病；世帯類型別（複数回答）

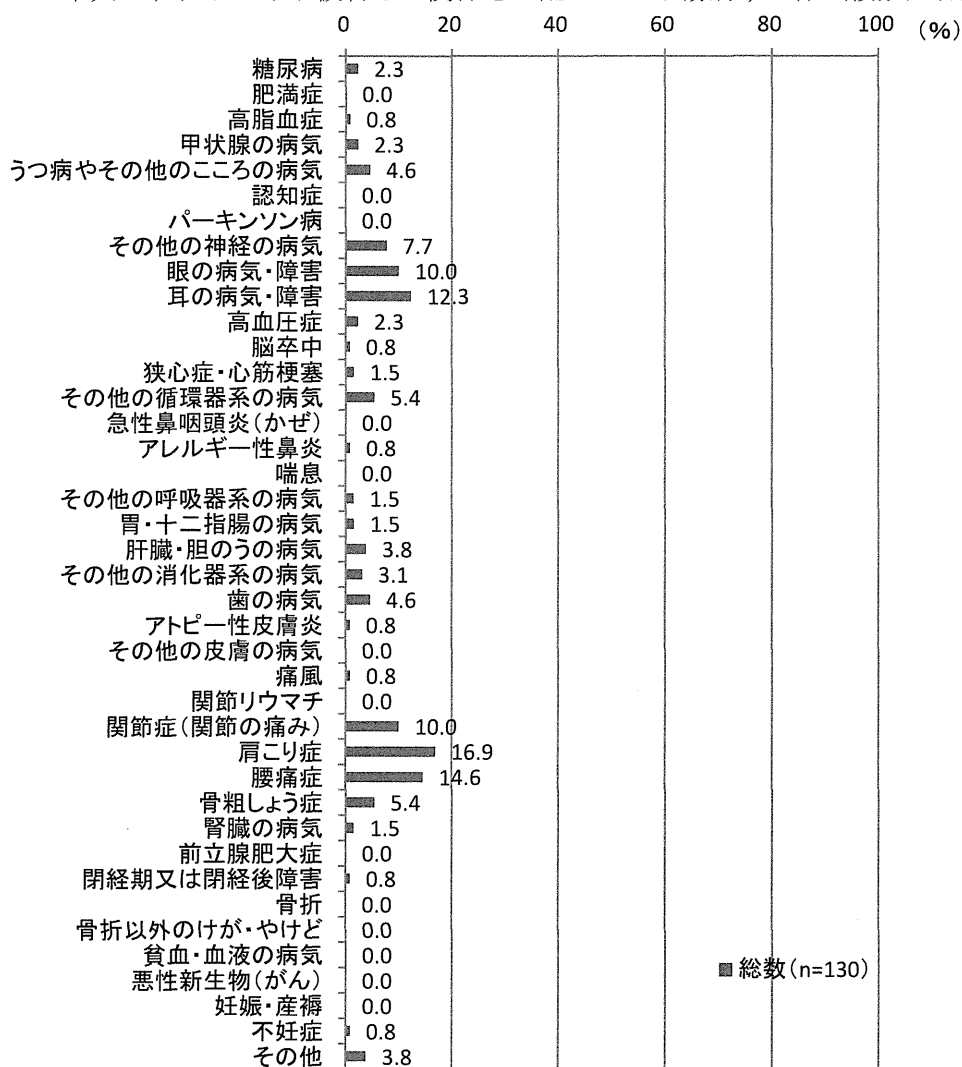


③本人がサリドマイド被害との関係を心配している傷病

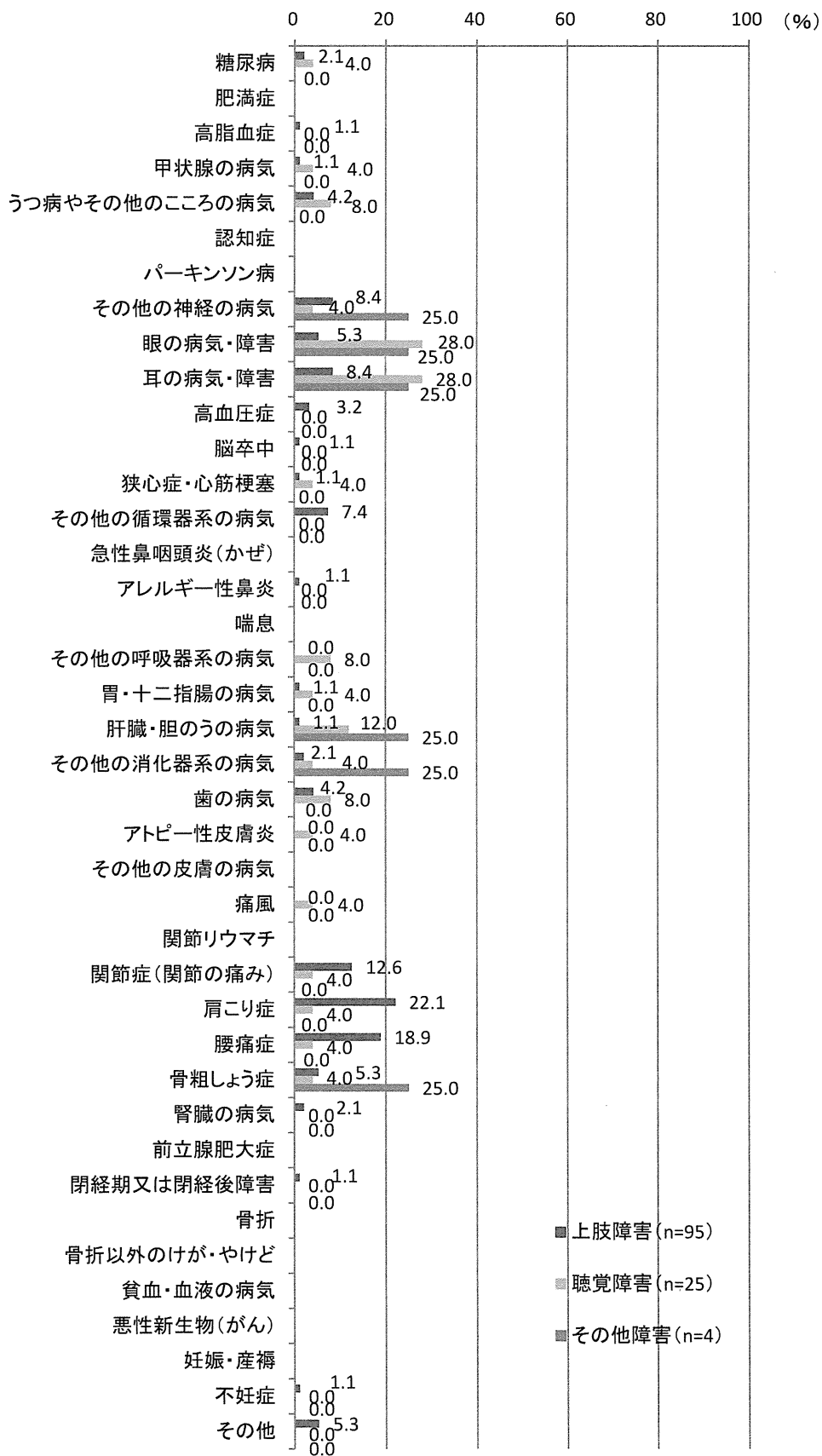
(3) 上記の中でサリドマイド被害との関係を心配している傷病名の番号を記入してください。
(番号はいくつでも)

- 傷病の中で、サリドマイド被害との関係を心配している症状について、全体で見ると、「肩こり症」が16.9%と最も多く、次いで「腰痛症」が14.6%、「耳の病気・障害」が12.3%である。
- 障害種別で見ると、上肢障害は「肩こり症」が22.1%と最も多く、次いで「腰痛症」が18.9%である。聴覚障害は「眼の病気・障害」と「耳の病気・障害」がそれぞれ28.0%である。
- 性別で見ると、男性は「腰痛症」が13.2%と最も多く、次いで、「眼の病気・障害」、「耳の病気・障害」、「その他の循環器系の病気」がそれぞれ8.8%である。女性は「肩こり症」が26.7%と最も多く、次いで「耳の病気・障害」と「腰痛症」がそれぞれ16.7%である。
- 世帯類型別で見ると、単身世帯は「肩こり症」が15.0%と最も多く、次いで「耳の病気・障害」と「腰痛症」がそれぞれ10.0%である。親とのみ同居世帯は「眼の病気・障害」と「腰痛症」がそれぞれ20.0%と最も多く、次いで「耳の病気・障害」が17.1%である。その他世帯は「肩こり症」が20.3%、「関節症」と「腰痛症」がそれぞれ13.5%である。

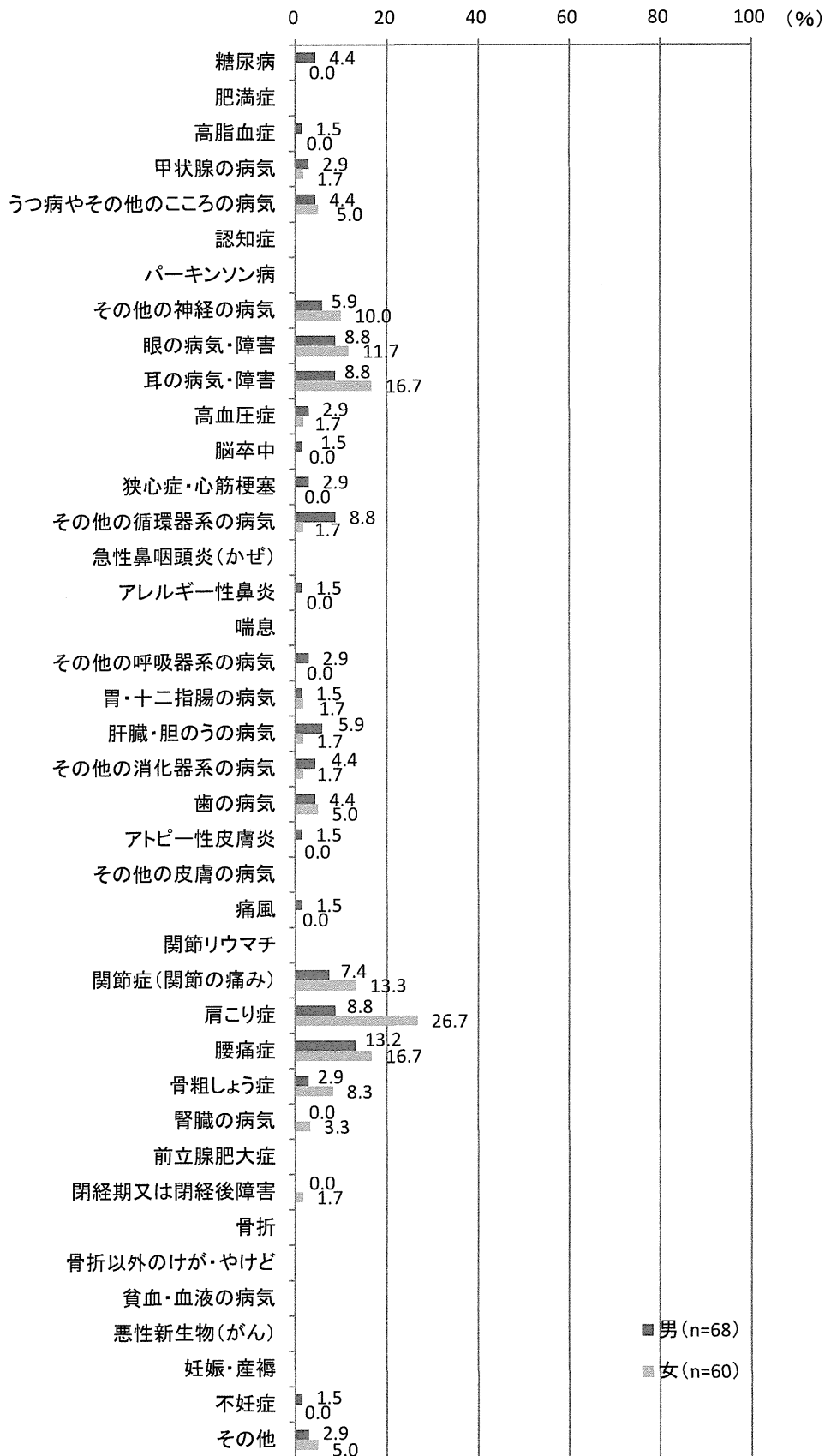
図表 84 本人がサリドマイド被害との関係を心配している傷病；全体（複数回答）



図表 85 本人がサリドマイド被害との関係を心配している傷病；障害種別（複数回答）



図表 86 本人がサリドマイド被害との関係を心配している傷病；性別（複数回答）



図表 87 本人がサリドマイド被害との関係を心配している傷病；世帯類型別（複数回答）

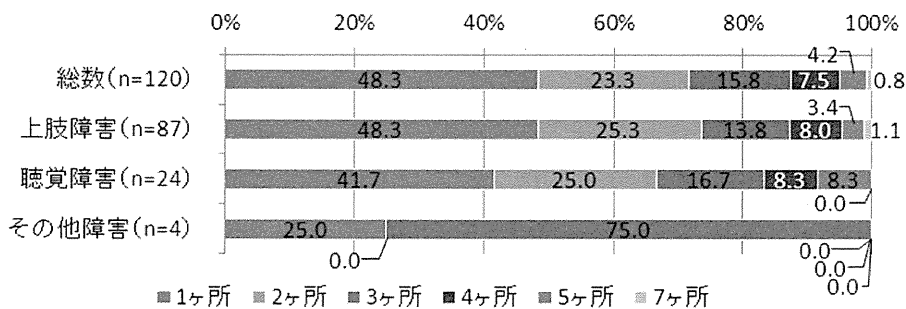


④定期的に通院している診療施設数

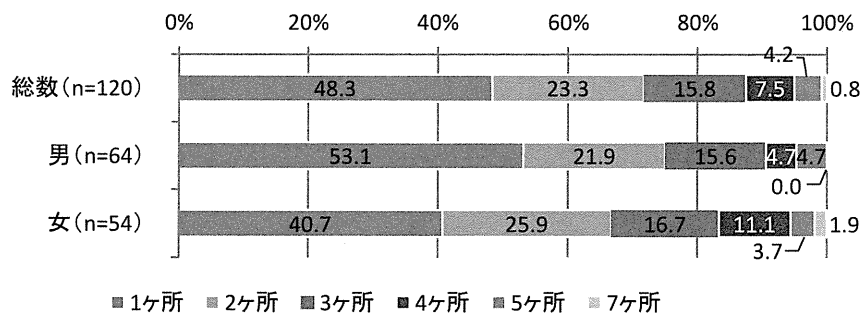
- (4) あなたが、定期的に通院している病院や診療所（医院、歯科医院）についてうかがいます。
 ※健診等（健康診断、健康診査及び人間ドック）による通院は除いてください。
 ①定期的に通院している病院や診療所の箇所数を記入してください。
 ※おおむねこの1年定期的に通院

- 定期的に通院している診療施設の数、全体で見ると、「1ヶ所」が48.3%と最も多く、次いで「2ヶ所」が23.3%、「3ヶ所」が15.8%である。
- 障害種別で見ると、上肢障害は「1ヶ所」が48.3%と最も多く、次いで「2ヶ所」が25.3%、「3ヶ所」が13.8%である。聴覚障害は「1ヶ所」が41.7%と最も多く、次いで「2ヶ所」が25%、「3ヶ所」が16.7%である。
- 性別で見ると、男性は「1ヶ所」が53.1%と最も多く、次いで「2ヶ所」が21.9%、「3ヶ所」が15.6%である。女性も「1ヶ所」が40.7%と最も多いが、男性に比べて割合は少なく、次いで「2ヶ所」が25.9%、「3ヶ所」が16.7%である。
- 世帯類型別で見ると、単身世帯は「1ヶ所」が44.4%と最も多く、「2ヶ所」が27.8%、「3ヶ所」が15.8%である。親とのみ同居世帯は「1ヶ所」が37.5%と最も多く、「2ヶ所」が28.1%、「3ヶ所」が18.8%である。その他世帯は「1ヶ所」が55.1%と最も多く、「2ヶ所」が18.8%、「3ヶ所」が14.5%である。

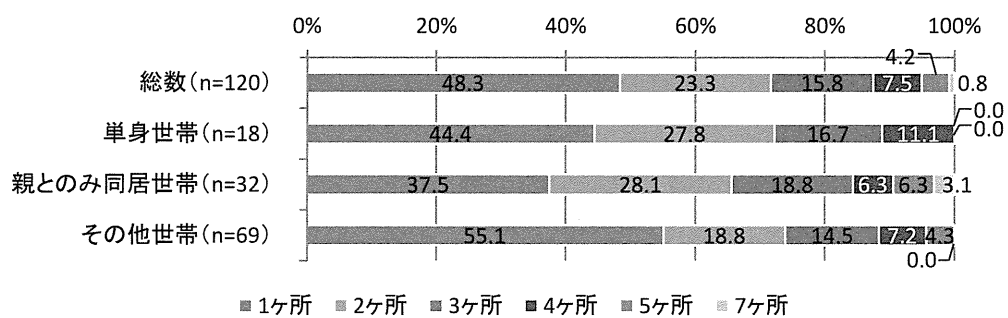
図表 88 定期的に通院している診療施設数；障害種別



図表 89 定期的に通院している診療施設数；性別



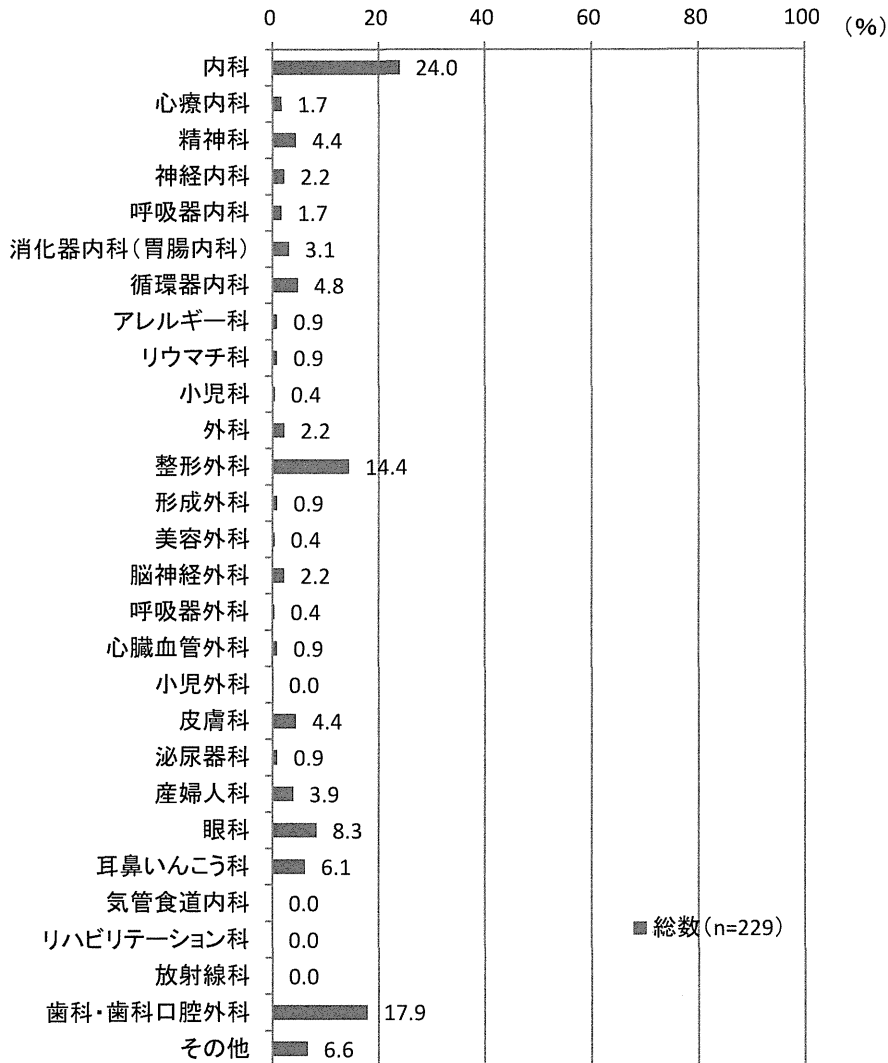
図表 90 定期的に通院している診療施設数；世帯類型別



②定期的に通院している病院や診療所すべてについて、診療科、通院頻度、通院方法、通院にかかる時間（片道）、通院にかかる交通費（片道）、その病院・診療所にかかったきつかけを記入してください。

- 通院している診療科目について、全体で見ると、「内科」が24%と最も多く、次いで「歯科・歯科口腔外科」が17.9%、「整形外科」が14.4%である。
- 障害種別で見ると、上肢障害は「内科」が25.5%と最も多く、次いで「歯科・歯科口腔外科」が19.4%、「整形外科」が17%である。聴覚障害は「内科」と「眼科」がそれぞれ20.4%と最も多く、次いで「歯科・歯科口腔外科」が16.3%である。
- 性別で見ると、男性は「内科」が24.6%と最も多く、次いで「整形外科」と「歯科・歯科口腔外科」がそれぞれ15.8%である。女性も「内科」が23.0%と最も多く、次いで「歯科・歯科口腔外科」が20.4%、「整形外科」が13.3%である。
- 世帯類型別で見ると、単身世帯は「内科」が34.4%と最も多く、次いで「整形外科」が25.0%、「歯科・歯科口腔外科」が15.6%である。親とのみ同居世帯も「内科」が19.7%と最も多く、次いで「耳鼻いんこう科」が16.7%、「歯科・歯科口腔外科」が15.2%である。その他世帯も「内科」が23.3%と最も多く、次いで「歯科・歯科口腔外科」が19.4%、「整形外科」が15.5%である。

図表 91 定期的に通院している診療科目；全体（複数回答）



図表 92 定期的に通院している診療科目；障害種別（複数回答）

